

令和六年

# 松香 Komunikado

令和六年一月度 新年祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Felician novjaron

新年あけましておめでとうございます。

ただいまは、松香分苑の令和六年一月度の新年祭を、遠方からもご参拝いただき、すがすがしく齋行させていただきました。ご参拝・ご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました方々、誠に有難うございます。

まず初めに、元日に能登半島におきまして最大震度七の大地震が発生し、亡くなられた方も二百人を越えており、その数はまだ増えそうな状況であります。この方々のご冥福と、今なお行方不明者の方々の、早期救助をお祈りいたします。

一月十四日発行  
第三百十号

大本松香分苑  
豊橋市南牛川二・三・二〇  
電話 ファックス  
〇五三二・六三・二一七三  
発行責任者 山本 健

この地方は、近年地震が続いており、大地震発生の一  
番の候補地でもありました。この地震は、我々太平洋側  
に住む者への警告とあります。最低二週間は、支援物資  
は十分に届かないと思つて備えが必要です。首都直下型  
地震で東京が災害になった場合は、管制塔が無くなりま  
すので、それ以上の対策が必要です。水（飲料水と生活  
用水）、食料（乾パンなど火や水がなくても即食べられ  
るもの含む）、暖（ホツカイロ、携帯コンロ）、トイレ対  
策としてビニール袋、トイレットペーパー、古新聞紙な  
どは必須です。非常持ち出しなども必要になってきま  
す。東南海地震は、三十年以内に八〇%の確率で発生す  
るといわれています。お互いに情報交換しながら対策を  
取りましょう。

続いて、教主様の新年ごあいさつからの抜粋で御座います。

「令和六年、今年の干支、甲辰にはきのえたついろいろな意味が含まれますが、その一つに「上昇し勢いを増しながらぐんぐん成長していく年である」といわれており、まさに新たな世紀が大きく開けていく機運を感じさせていただけます。引き続き今年もまた、百周年の大きな節目が巡ってまいります。

百年前の大正十三年の二月から六月にかけて、聖師様は『世界経綸の第一歩』として、世界平和への大きな志を抱かれ、中央アジアのモンゴル、更には西のエルサレムを目指して、中国大陸へとお渡りになりました、又同じ年に、霊界物語にハルの国と示される南米ブラジルに、大本信徒で初めて日本からの移民として渡った尾山照吉宣伝使によって南米宣教が始められてから百周年という、日本を起点として西へ東へと、まさに地球規模で宣教が始められた記念の年で御座います。

一方、今世界各地においては、大地震、大洪水、火山噴火、森林火災などの大災害の頻発に加え、特に東ヨーロッパや中東などでは、激しく悲惨な戦闘が繰り広げられており、大勢の方が苦しまれている姿に、何とか大難を小難にしたいだけですようにとご祈願する毎日でございます。〈後略〉とご挨拶されておられます。

今年は、激動の令和五六七の二年目を迎えます。益々厳しい状況になることも予想されますので、今こそ大本の信仰をさせていただいている私共は、ご神書の拝読、朝夕拝、月次祭の励行、本部参拝など、今まで以上に真剣にさせていただかなければならないと思います。私自身も、腹帯を締めるべく、今月十六日から大道場修行を受講予定です。来月にはその感想をご紹介できるものと思えます。

続いて、NPO法人縄文未来により、絶滅危惧種含む、指定希少野生動植物種四品種と赤松を一月五日に移植させて頂きました。小林善直様に忙しい中同行していただき、移植作業をしていただきました。貴重な植物を譲り受ける条件として、縄文未来の正会員になること、個人ではなく法人又は団体であることが条件でありましたので、松香分苑として、昨年正会員登録させていたいただき、今回移植出来ました。移植の証明書も用意していただいております。花の紹介は、花だよりに掲載致します。斌子だよりですが、今月も少しですが掲載して居りますので、目を通して下されば幸いです。

Koran dankon